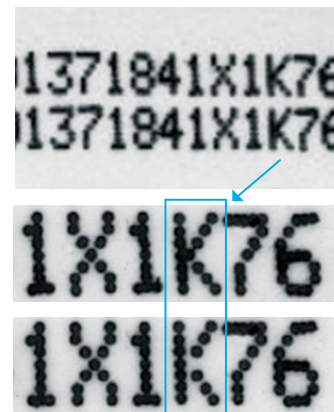


スマート印字ソリューション

生産ラインの個々の製品に対して一意の単品製品番号を生成します。通常、現在使用されているのと同じデジタル印字技術が使用されます。



スマート印字は意図されていない第三者による模倣が困難であるため、効果的な偽造横流し防止システムの重要な基礎となります。

偽造や横流しを防止することは難題です。通常、グレーマーケットやブラックマーケットの参加者は、他社の製品を複製または転売して利益を得るために手荒い方法を用います。しかし、スマート印字を使用すると、認定ベンダーはより容易に製品の信頼性を保証できるようになります。

製品のどこかに耐久性の高いロット番号を印字することは、保護の第一歩です。スマート印字は、印字内の特定の文字を変更して検証することにより、基本的なロット番号を強化し、無許可の第三者による印字の複製をより困難にします。下記は、現在印字済みのロット番号のセキュリティを強化するいくつかの方法を示しています。

ビデオジェットのソフトウェアは、完全なランダム印字を生成し、EPC (電子製品コード) 構造を組み込むか、または外部ソースから事前生成された印字を制御して、サプライチェーンシステム全体における各製品ユニットの追跡を可能にします。

ビデオジェットのスマート印字

- アルゴリズムにより生成
- アルゴリズムとキーの知識がないと複製が不可能
- 導入が容易 (生産コストの増加は最小限)
- 検証とトレーサビリティの複数の層に対して集約可能

スマート印字技術	説明	仕組み
人が検証できる印字	これらの印字はある種の事前定義されたルールやパターンに従う。たとえば、特定の数まで桁を追加したり、特定の桁に別の桁を掛けるなど。	受領した製品が承認されているかどうかを、サプライパートナーが目視検査するための基本的な方法。
インターリーブドマーキング	部分的に重複している英数字印字内のプログラムにより選択された2つ以上の文字。	プリンタとコントローラーの両方でカスタムソフトウェアによってのみ行われる。インターリーブドマーキングは、判読が容易だが複製が困難であるため、印字の保護能力を向上させる。
フォントの動的な変更	ソフトウェアにより生成される印字。各製品に一意の印字を作成するために、異なる文字や数字から成る小さなセグメントが欠けている。	微妙なので訓練を積んでいないと認識できない。動的に変更されたフォントは、サプライチェーンのパートナー側で製品の信頼性を立証するために目視検査できる。
機械が検証する印字	独自のソフトウェアアルゴリズムにより生成される印字。サプライチェーン全体で透視システムによりスキャンして追跡できる。	アルゴリズムとキーの知識がないと複製が不可能。検証可能印字は、各品目に一意のフィンガプリントを追加する。

TEL: 0120-984-602
Email: info@videojet.co.jp
URL: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

